



## 『DELASがDESになった日』

英語学科 丹野 眞

昨年4月から一般外国語教育センターの仕事に就いています。少年野球チームのコーチが、プロ野球球団の監督として任務遂行の命を仰せつかったようなものです。

10年程前吉田研作教授を中心に、ブレイスメントテストを始めとする一般外国語のカリキュラム改革が行われ、同時に語学教育センター設立構想が打ち立てられました。しかしながら、その後同教授のもと、英語・英文両学科教員の尽力にもかかわらず、いまだにセンター設立に至らないのが現状です。

「語学の上智」外国語教育はどうなっているの？このような卒業生からの疑問と不満の声がますます大きくなっています。

語学教育センター設立及び外国語教育改革が遅々として実現しないのは、学部学科改組の問題が一部、潜んでいるからかもしれません。

今年4月英語学科に長期計画委員会が発足し、学科の理念と将来あるべき姿について話し合いが開始されました。

6月の英語学科教授会での出来事です。学科の正式英語名Department of English Language and Studiesが、Department of English Studiesに変わっていたことが判明。(実は3年前からLanguageは削除されていました。英語名は誰も見なかったのです。)学科長の小塩和人教授いわく、「デラスがデスになりました」起死回生の策ではありませんが、この日偶然学科教授会では、会議は原則として英語で行い、議事録は日本語に英語を付記することが決まりました。

但し、何事も中庸が肝要。英語に徹すると、英語学科は国際教養学部のしもべと化し、文字通り死を迎えてしまいます。

今回は現役の学生さんにもコメントをいただくということで、お二人の方からお便りを頂きました。

## 『英語学科が つないでくれたもの』

佐藤 茉莉恵 (英語学科 4年)



最近、すべての出来事や出会いは繋がっていて、そのどれかがかけても現在の自分は存在しないんだ、と思います。私が英語学科に入学したのも、それまでの経験や出会いがあったおかげです。そして、英語学科に入ったおかげで出会えた人たちや素晴らしい経験がありました。

去年の秋から今年の春までアメリカのマサチューセッツ州に留学しました。留学生活は思った以上に大変で、何回も泣いて、日本に帰りたいと思いました。自分と向き合う時間も、日本にいたときより増えたので、今まで自分が目をそむけてきた自分自身の問題に「直面することもありました。

しかし、この留学でわたしは何人も素敵な人たちと出会いました。その人たちのおかげで、今まで気付かなかった大切なことに気付かされ、悩んでいたことにも答えを出すことができました。みんなとても個性的で、そのそれぞれの個性に誇りを持っているようでした。日本では人と違っているということに対して、冷たい目を向けられることがあります。しかし、留学先で出会った人たちは、人との違いを尊重し、それを当たり前だと思っているようでした。私も、人がそれぞれ違うのは当たり前だと思っていたし、右にならえ的な日本の風潮にも疑問を持っていました。その一方で、人からどう思われるかを気にするところもありました。しかし、留学中に出会った人たちを通して、人の目を気にするのはやめよう、なにか一つの壁を打ち破れたような気がするのです。そして、飾らないで、自分に正直な自然体でいることの大切さを学びました。

楽しくも辛かった留学生活。しかし、なにも代えがたい、素晴らしい経験をすることができました。英語学科に入学していなかったら、留学しようという決意はできなかったと思います。今は、英語学科に入ったおかげでできた留学から、留学したことでとり着いた新たな出発点に立つことができました。ほんとうによかったと思います。

# 『私の好きな場所』

吉田 真紀 (英語学科2年)



この度は、外国語学部設立50周年記念おめでとうございます。この歴史ある学部の一員になれたことを、とても誇りに思います。私は現在、学部二年生で、高校生の頃親の仕事の関係で米国ワシントン州シアトルに住んでいました。帰国後上智大学に入学し、英語学科で勉強するようになってから、あっという間に一年半が経っていました。上智大学は四谷という都心に位置していながら、閑静で緑も多く、最新設備の整ったシンボルタワー新二号館をはじめ、レンガ造りで大学の歴史のおもむきを感じる一号館、書籍類やパソコン設備が充実している中央図書館など、快適な学生生活を送ることができる施設が整った素敵なキャンパスです。また、2006年に国際教養学部が市ヶ谷から四谷キャンパスに移ったため、11号館周辺には留学生の姿が多く見られ、上智大学の国際性を肌で感じることができます。ラウンジに足を運んでみると、様々な国籍の学生たちが楽しげに英語で会話をしている、まるで高校時代のアメリカに戻ったかのような錯覚を覚えます。また英語学科は11号館での授業が多いため、ラウンジに行くとき必ずと言っていいほど友達に会えるので、私にとってラウンジは学校の中で特に好きな場所です。好き、といえば、言うまでもなく私は英語学科が大好きです。英語学科では、多くの帰国生と「純ジャバ」と呼ばれる日本で生まれ育った学生達が共に学んでいます。私は帰国生ですが、同じような境遇で育った仲間と日本にいながら海外の共通の話題で盛り上げられる場はとても貴重で、やはり居心地がいいものです。だからと言って、帰国生と純ジャバの学生との間に溝があるわけではなく、授業中などお互いの良さを出し、互いに足りないものを補い合いながら学んでいます。英語学科の必修科目は二年次で終わってしましますが、これから先も共に学び続けていきたいと思う沢山の仲間に出会えたことは、私にとっての財産です。これからも卒業の日まで、このような恵まれた環境にいることに感謝し、日々を大切に過ごしていきたいと思えます。

### 神林 直樹 (昭和50年卒)



私は卒業後9年間の商社勤務を経て、証券会社に転職しました。英語を使った商社時代と異なり、証券での当初8年間は事業法人ビジネスに従事のため、担当会社の海外での起債に随行した際英語を使う機会があった程度で、少しづつさび付いていくような心持ちでした。しかし、その後2年間出向した証券経済研究所では、さび付きかけていた英語を使い米国各地を訪問し、米国の個人顧客ビジネスの最前線の調査を実施しました。米国では組織に属さない独立系の外務員(IC:Independent Contractors)が多数存在し、顧客の信頼をベースとしたビジネスを展開しています。私は面談に際しAs matter of fact I have been away from using English language for more than 10years. So, will you please speak a little bit slowly と弁解がましく始めたものでした(実はこの表現が適正なものだったか正直自信がありませんでした)。これに対する彼らの返答は決まってMay be better than my Japanese といった(ジョークを含んだ)表現であったのもよく覚えております。結局この米国調査がきっかけとなり、その後、私は個人顧客ビジネスの世界を選択することとなり、IFA(Independent Financial Advisor)としてN&Y Wealth Managementを開業し、現在6年目を迎えております。

わが国では「貯蓄から投資へ」の標語の下、証券優遇税制が導入され、かなりの年数が経過しております。現在もその税制改正について、新聞等で盛んに報じられています。しかし、わが国では金融機関・証券会社等の組織販売(販売代理)が圧倒的であり、私が米国で見えてきた、またその後私自身が展開している顧客側の立場でのアドバイザー(購買代理)がより多く現れることが非常に重要だと思えます。それが投資の文化・土壌を育成し、「貯蓄から投資へ」の流れを本格化することに繋がっていくと思えます。この流れがより太くなるよう、微力ながら今後も尽力していく所存です。(メールアドレスnaokanba@nifty.com)

# クラシックバレエと フラワーアレンジメントそして水泳

國島 節子 (昭和53年卒)



大田区の大森から八王子に引っ越して3年になるが、20代後半に始めた趣味のクラシックバレエを再開した。谷桃子バレエ団の尾本安代先生のレッスンでポアント（トオシューズ）やメルバルクホールでの発表会を経験した。ドイツ、フランスへの語学留学で現地のバレエスクールにも通った。10年以上のブランクの後、八王子で美容バレエを再開した。週1回土曜の午前中にレッスンを受けている。腰と膝を痛めたのでポアントはあきらめたが楽しくバレエを続けている。

私のもうひとつの趣味はフラワーアレンジメントで会社で草月流の生け花を3年習った後、現在は月1回フラワーアレンジメントを稽古している。将来は自宅で教えるのが夢である。

そして、スポーツは水泳。私は上智大学体育会水泳部に所属していたのだが、八王子に来てからは市の体育館のプールで週2回、1回1000mを泳いでいた。現在は月2回を目標に水泳を続けている。

お知らせ

「STP (Summer Teaching Program)」が、来夏、40周年を迎えます。  
来春5月31日(日)の「オールソフィアの集い」で記念行事を開催するための  
実行委員を募集しています。詳しくはSELDAホームページ参照。

ご連絡は1979年卒小笠原宏司さんまで。

メール ■ [sophia735126self@yahoo.co.jp](mailto:sophia735126self@yahoo.co.jp)

## 卒業生短信

英語学科も今年、創立50周年を迎えました。それに因んで、昨年と今年に（金祝）を迎えられた先輩から近況を含めた短信をいただきました。ご投稿いただいた皆様に深く御礼申し上げます。

上智を巣立ち四十数年、夢中で働いてきましたが、数年前齢70歳にして会社を引退した後、直ちに大学卒業時に戻り、永らく心に抱いていた事柄に取り組むべく、唯今、上智の図書館にも通いながら、机に向かうことの多い日々。

これからの永い年月に登頂すべきいくつもの山々が見えていますが、果たして山頂を征服するまでに、ヘイフリック限界を解きほぐす医学上の変化があるのか、或いはその前に息が切れるのか、そこが問題。その結果を見るのも楽しみの一つ。

竹村 好之（昭和32年度卒）

史学学科2年後期、英語等の専攻科を新設するから希望の者は申し出るようにとのことで、同級生と一緒に申込みました。確か英語の成績が80点以上というのがその唯一の条件だったと記憶。勿論、その時は、私たちの踏み出した一歩が、外国語部の誇らしくも輝かしい150年につながるなどとは、夢にも思わなかったことです。大学院の時、指導教授だったロゲンドルフ神父に突然呼び出され、あるミッションスクールに直ぐに面接に行くように言われて、思いもかけず教師人生を始めることになりました。最後は、拓殖大学に新設された外国語学部英米語学科で27年間勤務し、3年前に定年、名誉教授。

今年2月には、教え子が主催する室内楽を聴くためにニューヨークへ、6月には、博士課程在学の元ゼミ生とお喋りするためにエディンバラへ出かけたりして、まさに教師冥利に尽きる（晩年）を過ごしています。昨年秋、上智大学のアンコールワット参道修復完成の祝典にツアーで参加、その後、石澤学長に遺贈を案内していただいたのも良い思い出になりました。

昨年の金祝には、英語、米語併せて4名だけ。

もっと多くの昔の懐かしい顔が、見られなかったのが残念でした。

E-mail : tmori@mail.hinocavt.ne.jp

森 哲夫（昭和32年度卒）

お世話になっております。市川武久は、平成18年に帰天しました。お知らせします。皆様のご発展をお祈りいたします。

市川 武久（昭和32年度卒）

市川 悦子

当初、上智大英文学部入学。3年の時、外国語学部誕生。大学より英語科、米語科何れかを選択せよとの要請で英語科を選択。従って英語科の第一期生。

卒業後、米石油会社（Chevron/Caltex）に入社。日本石油その他の日本の石油会社との事業関係調整に努め、退職後も顧問として在職。1995年にChevron/Caltexを退職、その後現在の野村事務所に役員・顧問として現在にいたる。現在は、中国を含め東南アジアへ日本並びに韓国石油製品輸出のマ-ケット開発に従事中。

上智大学で学んだ英語で実業の世界と海外との人的交流をいまだに続けられるのも、上智で習った英語と上智の国際性感覚のたまものと感謝しております。又、最近では上智大卒業の諸氏が実業社会や、その他の世界を通じて、色々な分野で活躍しているのは、上智大学の存在性と卒業生の皆さんたちの努力のたまものと思っております。

最後に、上智大学・英語学科に幸あれとエールを送ってメールを締めます。

中村 功（昭和32年度卒）

#### 前略

卒業以来早いもので半世紀も過ぎ、小生も今年喜寿の年を迎えることになりました。幸いにも身体もすこぶる元気で日常生活を送っています。同窓生の皆さんの近況も気になります。これからも上智大学の益々の発展を祈念いたします。

**内野 光敏** (昭和33年度卒)

長年勤めた商社での定年退職を期に郷里の地に居を構え、早や13年が経ち東京生まれの妻も地元で馴染み、私もグランドゴルフ、水彩画教室、絵手紙教室、カメラクラブ、江戸古文書研究会等、趣味悠々の毎日です。更に昨年始めたピアノも若い女の先生の個人レッスンを受け、楽譜が全く読めなかったのが、今では、童謡を含め7～8曲マスターしました。これからは、常に新しいものにチャレンジしていきたいと思っております。私の座右の銘は「老いて学べば死して朽ちず」(佐藤一斎)をモットーに元気に過ごしていきたいと思っております。

**山本 哲生** (昭和33年度卒)

#### 50年前を振り返って

戦後の学制改革と同時に教団にたった9年間の教職を辞して上智大学の英語学科に編入させていただきました。若い学生仲間の真摯な学生生活の刺激を受けて2年間一日の欠席も無く通学し、受講できました。当時の学部長 千葉勉先生(英詩)、ロゲンドルフ先生(現代英文学)、ロゲン先生(イギリス思想史)、ミルワード先生(シェイクスピア)、サイデンスティック先生(イギリス文化史)、その他の先生方の尊顔が昨日のようにつぎつぎと浮かんで参ります。上智の生活は私の八十余年のうちの僅か2

年に過ぎませんが、何にも代えがたい充実した時間で忘れ去ることは出来ません。上智大学も開学を間近に迎えて先勞のご努力と国内外で活躍されるOBの皆様にご感謝の念をささげます。今後ますます二百年、三百年・・・に向かって上智の栄光を期待申し上げます。

**芳賀 英昭** (昭和33年度卒)

この3月に清泉女子大学を退職し、4月より東京純心女子高等学校宗教科に非常勤講師として勤務しております。

**呉 佳代子** (昭和39年度卒)

伊藤恵子さんより翻訳書発刊のお知らせがありました。

著者 サミュエル・S・エプステーン医学博士

訳者 伊藤恵子

タイトル SHOPPER BEWARE

ガンからの警告 知られざる日用品の害毒

出版社 リヨン社

定価 本体1700円+税

**伊藤 恵子** (昭和50年度卒)

本年6月より夫の転勤のため、香港に引っ越しました。

**McElhenny 和子(旧姓 大澤)** (昭和61年度卒)

大日本インキに就職して、タイに2年、シンガポールに3年近く赴任しています。元気でやっているようです。

**近藤 充生** (昭和62年度卒) さんのお父様より

この4月より同志社大学文学部英文学科に准教授として着任いたしました。浜松にあります静岡文化芸術大学に8年間お世話になり、常に自分の立ち位置を意識して研究すること、働くこと、生活していくことを学びました。今度は、京都で同志社で英文学をさせていただける意義を噛み締めながら、精進を続けてゆきたく考えております。

**下橋 昌哉** (昭和62年度卒)

初めての訳書『大地の動きと岩石・鉱物・化石 1 火成岩』(文溪社)が刊行されました。小学校高学年を対象に地球上のさまざまな不思議な岩、地形の写真がふんだんに使われた本です。皆様、機会があればお手にとってご覧下さい。

**木下 英津子** (平成3年度卒)

大学を卒業後、一般企業に就職しましたが、その後一転して、伝統芸能の世界を志し、現在は、『長唄三味線方』として、歌舞伎座や国立劇場といった舞台上、日々三味線を演奏しております。一方で中学校、高校の学習指導要領に和楽器実技が取り入れられたことにより、音楽科の先生や中学生、高校生などに三味線を指導する機会も増えています。学生時代には、留学生と会話するためのキッカケとして、始めたにすぎなかった三味線ですが、今日、このようにして、職業にすることになるとは夢にも思っていませんでした。海外からの招聘により演奏することもしばしばで、昨年はフランス、今年はブラジルで移民100周年事業に参加します。英語学科ご出身の方で、対外的な部署において、海外からのお客さまをお迎えする立場の方も少なくないことと思います。このとき、三味線や歌舞伎等、伝統芸能によるおもてなしをお考えでしたら、是非ご一報いただけましたら幸いです。

URL : <http://hozumi.syami.com>

E-mail : [hozumi@syami.com](mailto:hozumi@syami.com)

**穂積 大志** (平成11年度卒)





皆様こんにちは。昨年度より会長職を預かっております池沢です。  
SELDAAの活動に係わってもう10余年の年月が経ちましたが、お陰で未だに懐かしい四谷キャンパスを折々訪れています。キャンパスの大きさは変わらないはずなのに、何となく小さく狭く感じるのは建物がどんどん大きくなっているからでしょうか？でも、建物だけでなく樹木もすっかり成長して、都心にもかかわらず緑陰の美しい憩いの（勉学の！）場となっています。久しく遠ざかっていらっしゃる方、是非機会を見つけて里帰りしてください。

さて、今年は英語学科創立50周年、SELDAA創立25周年という記念すべき年になりました。5月の総会の後の25周年祝いを兼ねた懇親会に、金祝を迎えた方々が寄って下さいました。お元氣な先輩のお顔を拝見して嬉しかったです。本来ですと、これだけの組織と歴史ある同窓会として何か一大記念イベントを企画し、大勢の方が集い祝う50周年祝賀会を設けるべきなのですが、今の常任委員会には実行委員会さえ設ける組織力がありません。その点はとても残念なのですが、先輩諸氏が連綿と続けてくださったこの会報を続けることに祝賀の心を載せて繋いで行きたいと思えます。

四谷の空気に浸り、先生方の講義に聞き入り、試験に頭を悩ませ、友人と語り合ったあの頃。懐かしいですね。卒業年度に拘わらず、時を置いて同じ椅子に腰掛けていたかもしれない見知らぬ同窓生をつなぐ会報です。住んでいる場所も、卒業年度も違うけれど、不思議な接点を分かち合う方々からの声が「元氣薬」になりませんか？いつも会報に同封される「卒業生短信」葉書をどうぞご利用ください。お声をお待ちしています。

「ボランティアの常任委員募集中」に気がつかれましたか？常任委員は皆、仕事なり他の活動なりの合間を遣り繰りして事務作業や会報編集を行っています。手分けすれば負担が少なくなります。将来にこの事業を継続するためにも、新しいメンバーの力と知恵が必要です。ご連絡をお待ちしています。是非是非。

お仕事やご家庭のことだけでなく、いろいろな方面で活躍されている皆様のご健康とご発展をお祈りしつつ、上智大学のサポート及び、色々な形でのSELDAA活動参加をお待ちしています。ソフィア会のニュースでご覧になったように、2013年に上智大学は建学100周年を祝います。

池沢 なるみ (昭和48年度卒)

**昭和34年(1959年)卒、昭和59年(1984年)卒、  
平成6年(1994年)卒の皆様へ**

来年度は皆様が進祝、銀祝を迎えられます。久しくお会いしていない同窓生、SELDAA会員の皆様にも、(卒業生短信)欄を利用して近況報告やメッセージを是非お寄せください。次号会報に掲載いたします。

## 2008年度上智大学英語学科同窓会 ( SELDAA ) 総会報告

日時：2008年5月25日(日) 12:00～

場所：上智大学四谷キャンパス 1号館203教室

司会挨拶および議長の選任

会長挨拶

総会議事

1 / 2007年度活動報告について

会報発行 (45・46号)

SELDAA 協力による「大使講演会」の開催

ウェブサイトの維持管理

2 / 2007年度決算報告について

(以上一活審議)

3 / 2008年度活動方針について

会報発行 (47・48号)

同窓会事務のマニュアル化 (継続)

SELDAA 設立25周年 (2008年度) 懇親会 (2008年度総会の後)

会員データベースの活用法の検討

会費過剰支払い者への返金

SELDAA 主催のセミナー (1～2回)

4 / 2008年度予算案について

(以上一活審議)

5 / SELDAA 設立25周年懇親会

## SELDAA 役員構成 (2008年5月現在)

名誉会長 / 小塩 和人(英語学科長)

会 長 / 池沢 なるみ(昭和48年卒)

副 会 長・会 報 / 佐藤 誠一郎(昭和53年卒)

事務局長 / 根本 竜太郎(平成15年卒)

会 計 / 飛弾 誠(昭和53年卒)

常任委員 / 林 めぐみ(平成13年卒) 神田 葉子 (昭和51年卒) 廣瀬 一郎 (昭和53年卒)

監 査 / 落合 彰子(昭和46年卒) 安西 徳子(昭和49年卒)

### 2008年度 上智大学英語学科同窓会予算書

自 2008年4月1日 至 2009年3月31日

(単位:円)

	科目	予算	備考
収入	1. 繰越金	13,899,060	
	2. 会費	1,400,000	会費、入会金、寄付金など
	3. 受取利息	17,000	銀行預金・郵便貯金の利息
	4. 講演会参加費	20,000	
	5. 雑収入	0	振込人不明収入等
	合計	15,336,060	
支出	10. 名簿作成積立金	0	
	11. 会報費	3,000,000	会報47・48号印刷料等、46・47・48DTP費
	12. 講演会補助費	200,000	講師謝礼、懇親会費補助など
	13. 交流促進費	250,000	ウェブサイト維持管理費
	14. 総会費	200,000	懇親会、25周年パーティ等
	15. 会議費	100,000	常任委員会等
	16. 事務処理費	200,000	データ作成、通信費、振込手数料等
	17. 同窓会事務所家賃	0	
	18. 名簿作成費	0	
	19. 雑費	433,000	過剰受取金の清算
99. 予備費	10,953,060		
	合計	15,336,060	

### 2008年度 上智大学英語学科同窓会 収支決算書

自 2007年4月1日 至 2008年3月31日

収入額 16,695,641  
 支出額 2,796,581  
 次年度繰越金 13,899,060

(単位:円)

	科目	予算	決算額	備考
収入	1. 繰越金	13,333,453	15,219,796	
	2. 会費	1,500,000	1,425,000	会費、入会金、寄付金など
	3. 受取利息	4,000	17,845	銀行預金・郵便貯金の利息
	4. 講演会参加費	20,000		
	5. 雑収入	0	33,000	振込人不明収入等
	合計	14,857,453	16,695,641	
支出	10. 名簿作成積立金	0	0	
	11. 会報費	3,000,000	2,316,333	会報45・46号印刷料等、46・47・48DTP費
	12. 講演会補助費	160,000	30,350	講師謝礼、懇親会費補助など
	13. 交流促進費	250,000	224,360	ウェブサイト維持管理費
	14. 総会費	100,000	92,325	懇親会、25周年パーティ等
	15. 会議費	100,000	42,269	常任委員会等
	16. 事務処理費	200,000	90,944	データ作成、通信費、振込手数料等
	17. 同窓会事務所家賃	300,000	0	
	18. 名簿作成費	0		
	19. 雑費	100,000		過剰受取金の清算
99. 予備費	10,647,453			
	合計	14,857,453	2,796,581	
			13,899,060	2008年度に繰越

(注記) 次年度繰越金の内容は次の通りである。

現金		200,000
ゆうちょダイレクト	振替口座	0
郵便局ばるる口座	通常預金	0
三菱東京UFJ銀行	普通預金	433,000
みずほ銀行(積立金)	普通預金	10,953,060
合計		15,336,060

## 住所変更の通知にご協力ください

ご住所、勤務先などに変更があった方、名簿の誤りを訂正される方、お名前の正しい読み方を知らせてくださる方は、英語学科同窓会事務局またはソフィア会事務局までお知らせください。同窓会事務局でいただいた変更通知は、「個人情報保護法」を尊重し必要な手続きの上、ソフィア会事務局にも通知します。

住所不明の方が多数いらっしゃいます。消息をご存知の方、情報をお寄せください。お友達で会報が届いていないという方がいらっしゃいましたら、是非事務局までご一報ください。

また、最近各市町村合併などによる住所の変更が多くなっております。是非最新の住所、電話番号等をお知らせください。

住所・勤務先の変更等は、同封の葉書をお使いいただくか、SELDAAのホームページの「住所・勤務先変更フォーム」([http://seldaa.net/about/change\\_form.html](http://seldaa.net/about/change_form.html))から送ってください。

## SELDAAより、募集とお知らせ

SELDAAでは、皆様よりこの会報に掲載する記事を募集しています。近況や最近感じたことなど、何でも結構です。書式は自由ですので、同窓会事務局宛にどしどしお送りください(写真も大歓迎)。

この同窓会の常任委員として手伝ってくださる方を募集しております。ボランティアで私達と一緒に会を盛り上げてくださる方、ご連絡をお待ちしています。

上記に関するご応募・お問い合わせはこちらまで。

連絡先: 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学英語学科事務室気付 上智大学英語学科同窓会事務局  
FAX.03-3238-3910 ([http://seldaa.net/about/change\\_form.html](http://seldaa.net/about/change_form.html))

(Faxは、英語学科同窓会宛を明記してください。)

## 会費納入のお知らせ

本会の諸活動は、卒業生の皆様からの会費の納入によって賄われています。同窓会活動のより一層の充実と活性化を図るために、ぜひ会費をお支払い下さいますようお願い申し上げます。

会費の支払方法には、毎年会費を支払う「一般会員」と、一括払いの「終身会員」の2通りがあります。初めて会費をお支払いになる際には入会金も合わせてお支払い願います。金額は下記の通りです。同封の振替用紙にて最寄りの郵便局または銀行よりお支払いください。その際、ソフィア会会員番号を必ずご記入ください。

入会金	: 1,000円
一般会員	: 年会費 2,000円 (できれば3年分まとめて)
終身会員	: 一括払い 20,000円

## あなたの会費納入状況

英語学科同窓会では、昭和32年から平成18年までの英語学科卒業生7,506名の会員データをコンピュータ化しました。それに伴い、会員の納入状況をより明確にお伝えすることができるようになりました。封筒の宛名ラベル右上にある日付は、例えば、「2006年3月31日(2005年度分)まで会費が支払われていることを示します。会費は年度単位で管理されています。「終身会員」「名誉会員」は表示の通りです。事務局では、データの正確な入力に最善を尽くしておりますが、表示内容に疑義や質問のある方は事務局までお知らせください。

SELDAA 常任委員 (2008年5月現在)

名誉会長 / 小堀 和人 (英語学科長)  
会長 / 池沢 なるみ (昭和48年卒)  
副会長・事務局長 / 根本 竜太郎 (平成15年卒)  
副会長・会報 / 佐藤 誠一郎 (昭和53年卒)  
廣瀬 一郎 (昭和53年卒)  
会計 / 飛弾 誠 (昭和53年卒)  
常任委員 / 林 めぐみ (平成13年卒)  
神田 葉子 (昭和51年卒)  
会計監査 / 落合 彰子 (昭和46年卒)  
安西 徳子 (昭和49年卒)